

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
ほほえみ放課後等デイサービス		2025年 2月 25日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		・利用者さんの人数が多い時は工夫している。	・車椅子の利用児が多い時は狭く感じている支援員が多いため、空間を分けて別室も利用する。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		・障害特性によってチームを分ける等空間を分けている。	・配置人数は適切なため、スキルアップのための研修に取り組んでいく。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		・肢体不自由児が利用する時は、ベッドを有効活用している。	・パーテーション等を上手に使う。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		・サイドテーブルの脚が飛び出していることがあるため支援員が注意を促している。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		・勉強中は、パーテーションで仕切りを作り集中できるような工夫をしている。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		・毎月の部会で、改善をしたい内容と対策について共有を図っている。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		・保護者への送り出し時、利用児ができたことを伝えたり、保護者からの相談を聞きやすいような雰囲気づくりに努めている。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		・毎月の部会で、業務改善をして欲しいと思うことを伝えやすいようにしている。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>			・第三者評価を受けたが、評価結果が業務改善につながっていないと感じている支援員がいるため個別面談などが必要。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		・法人で実施している研修に、全員が交替で参加できるようにしている。	・支援員によって参加したい研修が違うため、希望する研修が受けられるような仕組み作りが必要。
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>		・同法人の放課後等デイサービスを担当している児発管で集まり、共通理解を図った。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		・定期的な面談を通して、保護者と利用児にとって今必要なニーズを把握するようにしている。	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		・各利用児の担当を中心に、利用児にとって必要な支援は何なのかを話し合っている。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		・部会で保護者との面談の報告や個別支援計画について説明する時間を設けている。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>		・利用児の担当支援員にアセスメントシートの内容についてチェックしてもらい現状を適切に記載するようにしている。	
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>		・部会や打合せ時、ガイドラインを確認する時間を作り共通理解を図ることで目標を達成できるようにしている。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>		・月間の五領域の発達支援プログラムを基に、活動担当者がその日の利用児に合った内容のプログラムを考えている。	

適切な支援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・年間計画を基に、月間のプログラムを立てて季節に応じた内容にできるようにしている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		・個別活動と集団活動は、利用児の特性に応じたプログラムを用意して、個別支援計画と連動している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・打合せの時間を確保することで、利用児への必要な支援を共有することができている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・振り返りの時間を確保することで、活動内容や利用児の支援についての良かった点や反省点を共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・情緒、体調等細かい項目に分けてしっかりと記載している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・6か月ごとのモニタリングに加えて、利用児や保護者から相談があった時は、適宜面談を実施し個別支援計画の見直しを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○			・コロナ禍以降、以前取り組んでいた地域住民との交流を復活させることができていない。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		・発語がない重度の利用児には絵カードや、ジェスチャー、視線等で選択できるようにしている。	・機器（パソコン・タブレット等のICT機器）を使った支援の活用。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・児発管、主任保育士、看護師が対象利用児に必要な会議に参画している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・利用児のニーズに応じた連携体制を整えている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		・学校迎え時の申し送り、利用児や保護者から相談があった時等連携を図っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		・児童発達支援が隣接しているため、密に連携を図っている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		・生活介護事業所が隣接しているため、密に連携を図っている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		・OT,STの研修を受講し支援内容についての質問をしている。	・他法人の児童発達支援センターとの連携を図る機会が少ない。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		・地域の学校の利用児と支援学校の利用児との交流が出来ている。	・放課後児童クラブや児童館との交流ができていない。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		○	・研修を受ける機会がある時は、児発管が参加している。	・支援員が参加する機会がない。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・お迎えの時に、今日できたことを伝え自宅での様子も聞くように努めている。その内容を日誌に記録して支援員間で周知している。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○	・保護者懇親会でペアレントプログラムについて説明を行った。	・令和7年度から支援員の勉強会を開始する予定。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・新規契約時や、面談時に適宜行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・面談時に要望やニーズを引き出して、それに基づく計画を作成し説明の際に意向を確認している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		・必ず説明してから同意を得ている。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・相談しやすい雰囲気作りに努めて、児発管だけでなく支援員も相談にのり助言を行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○		・保護者会では、給食試食会を実施して利用児の写真をスライドショーで見てもらう時間を作った。	・今年度、初めてお父様が参加されたため今後もご両親が参加しやすいような企画やきょうだい児と交流できる機会を検討する。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・保護者からご要望があった時は、児発管が窓口になり迅速に対応している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		・毎月、写真つきの「さくらだより」を発行し、「Facebook」にも活動の様子を投稿している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・個人情報同意書の確認を行っている。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・保護者へのお知らせをプリントからメールでの配布に変更し、いつでも確認しやすいようにしている。	・保護者によっては、紙媒体でのお知らせを希望されるため個別に対応している。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		・コロナ禍の前は、アンクルン演奏会のイベントを行い地域住民も呼んでいたが現在は、イベントを行うことができていない。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・毎月、避難訓練を行い参加することができる。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・定期的に研修や、訓練を実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		・看護師を中心に、適切な支援ができるようにしている。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		・必ず医師の指示書の提出をお願いしており対応の方法について、職員に周知している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		・面談時に説明している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・毎月ヒヤリハット委員会を開催、対策について話し合っている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・毎月虐待防止委員会を開催し、他の部署からの意見も取り入れている。 ・様々な研修に参加している。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		・今のところ身体拘束に該当する対象児童はいないが、対象児童を受け入れる時は組織的に話し合う予定。		